



## 平成25年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年5月14日

上場取引所 東 大

上場会社名 東洋ゴム工業株式会社

コード番号 5105 URL <http://www.toyo-rubber.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 信木 明

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 常務執行役員 (氏名) 久世 哲也

TEL 06-6441-8801

四半期報告書提出予定日 平成25年5月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成25年12月期第1四半期の連結業績(平成25年1月1日～平成25年3月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年12月期第1四半期	83,535	—	5,961	—	6,037	—	4,234	—
24年12月期第1四半期	120,474	—	3,529	—	2,253	—	1,252	—

(注) 包括利益 25年12月期第1四半期 15,019百万円 (—%) 24年12月期第1四半期 △325百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年12月期第1四半期	16.67	—
24年12月期第1四半期	4.93	—

(注) 平成24年12月期は決算期変更の経過期間であったことから、前第1四半期連結累計期間については、国内の連結対象会社は3ヶ月間(平成24年4月1日～平成24年6月30日)、海外の連結対象会社は6ヶ月間(平成24年1月1日～平成24年6月30日)を連結対象期間とした変則的な決算となっております。このため、対前年同四半期増減率については記載していません。

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円	%	百万円	%	%
25年12月期第1四半期	377,753	—	119,639	—	30.9
24年12月期	354,285	—	106,633	—	29.3

(参考) 自己資本 25年12月期第1四半期 116,871百万円 24年12月期 103,844百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金					合計
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	円 銭	
24年12月期	—	0.00	—	7.00	円 銭	7.00
25年12月期	—	—	—	—	円 銭	—
25年12月期(予想)	—	0.00	—	9.00	円 銭	9.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成25年12月期の連結業績予想(平成25年1月1日～平成25年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	165,000	—	12,000	—	11,000	—	6,000	—	23.62
通期	360,000	—	22,000	—	19,000	—	12,000	—	47.24

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

2. 平成24年12月期は決算期変更の経過期間であったことから、通期については、国内の連結対象会社は9ヶ月間(平成24年4月1日～平成24年12月31日)、海外の連結対象会社は12ヶ月間(平成24年1月1日～平成24年12月31日)を連結対象期間とした変則的な決算となっております。また、第2四半期連結累計期間につきましても、国内の連結対象会社は6ヶ月間(平成24年4月1日～平成24年9月30日)、海外の連結対象会社は9ヶ月間(平成24年1月1日～平成24年9月30日)を連結対象期間とした変則的な決算となっております。このため、通期の対前期増減率及び第2四半期連結累計期間の対前年同四半期増減率については記載していません。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P.4「サマリー情報(注記事項)に関する事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年12月期1Q	254,358,146 株	24年12月期	254,358,146 株
25年12月期1Q	323,547 株	24年12月期	319,515 株
25年12月期1Q	254,036,531 株	24年12月期1Q	254,044,876 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、現時点で入手された情報に基づき判断した見通しであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。従いまして、実際の業績は、様々な要因により、これらの見通しとは異なることがありますことをご承知おきください。業績予想の背景及び前提となる条件等については、添付資料P.3「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

添付資料の目次

1.	当四半期決算に関する定性的情報	2
	(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
	(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
	(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2.	サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
	(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
	(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
	(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3.	四半期連結財務諸表	5
	(1) 四半期連結貸借対照表	5
	(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
	(3) 継続企業の前提に関する注記	9
	(4) セグメント情報	9
	(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する定性的情報

## ① 当期の経営成績

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、米国では個人消費や設備投資が堅調に推移しているものの、欧州では債務問題による緊縮財政の影響などから景気の回復力は弱く、また中国でも成長スピードが緩やかなペースにとどまるなど、依然として先行き不透明な状況が続きました。国内においては、経済対策や金融政策の効果などの期待感から円安の進行や株価の上昇、消費マインドの改善などが進み、緩やかながら景気は持ち直しました。

このような状況のもと、当社グループは2015年度を最終年度とする5ヶ年計画「中期経営計画'11」の目標を達成するため、成長・収益市場への事業拡大、最適供給体制の構築、高付加価値商品の拡販、環境配慮技術による商品化、製造原価低減の推進などに取り組みました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は835億35百万円、営業利益は59億61百万円、経常利益は60億37百万円、四半期純利益は42億34百万円となりました。

事業別の状況は次のとおりであります。

## ② 事業別の状況

## 〔タイヤ事業〕

タイヤ事業の売上高は647億35百万円となり、営業利益は50億74百万円となりました。

## (新車用タイヤ)

エコカー補助金制度が終了した影響などにより国内自動車生産台数が減少したため、販売量は低調に推移しましたが、高付加価値商品の販売が拡大したことにより、売上高は前期並みとなりました。

## (国内市販用タイヤ)

低燃費タイヤ「NANOENERGY (ナノエナジー)」シリーズの販売が好調であったことなどにより、販売量は順調に推移しましたが、商品ミックスの悪化などもあり売上高は低調に推移しました。

## (海外市販用タイヤ)

北米市場では、低迷していた景気が徐々に回復し、また高付加価値商品であるSUV用タイヤの販売が好調であったことにより、販売量・売上高とも順調に推移しました。一方、欧州市場では、新規顧客開拓の強化を図りましたが、景気低迷の影響及び市況価格の下落などもあり、売上高は前期並みとなりました。また、中国市場では、販売量・売上高とも低調に推移しましたが、東南アジア市場では、販売量・売上高とも順調に推移しました。この結果、海外市販用タイヤ全体では、販売量・売上高とも順調に推移しました。

## 〔ダイバーテック事業〕

ダイバーテック事業の売上高は187億88百万円となり、営業利益は6億42百万円となりました。

## (輸送機器分野)

自動車用防振ゴム及び自動車用シートクッションについては、前年度下期にエコカー補助金制度が終了した影響で需要が減少したため、売上高は低調に推移しました。鉄道車両用空気バネ及び鉄道車両用防振ゴムについては、国内新車向けは低調でしたが、海外新車向けでインフラ関係の案件が急増したため、全体の売上高は順調に推移しました。

## (断熱・防水資材分野)

断熱資材分野については、冷蔵倉庫向けの硬質ウレタン原液やマンション・ビル向け建築用スプレー原液の販売は好調でしたが、農畜舎向け資材で新規物件獲得が停滞したため、全体の売上高は低調に推移しました。防水資材分野については、全国的に市場が縮小する中、関西地区で大型物件を受注したため、売

上高は順調に推移しました。

(産業・建築資材分野)

産業資材分野については、標準防振ゴムの受注が減少したことにより、売上高は低調に推移しました。建築資材分野については、建築免震ゴムの大型物件の受注が相次いだため、売上高は順調に推移しました。

(注) 前期は決算期変更の経過期間であったことから、前第1四半期連結累計期間については、国内の連結対象会社は3ヶ月間(平成24年4月1日～平成24年6月30日)、海外の連結対象会社は6ヶ月間(平成24年1月1日～平成24年6月30日)を連結対象期間とした変則的な決算となっております。このため、前年同期比増減額及び増減率については記載しておりません。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、3,777億53百万円となり、前連結会計年度末に比べ234億67百万円増加しました。これは、主として、成長市場への投資等に伴って有形固定資産が増加したことや株価の上昇により投資有価証券が増加したこと、現金及び預金が増加したこと等によります。

また、負債は2,581億13百万円となり、前連結会計年度末に比べ104億61百万円増加しました。これは、主として、借入金や仕入債務等が増加したことによります。なお、有利子負債は1,386億54百万円となり、前連結会計年度末に比べ57億98百万円増加しました。

当第1四半期連結会計期間末の純資産は1,196億39百万円となり、前連結会計年度末に比べ130億5百万円増加しました。これは、主として、為替換算調整勘定やその他有価証券評価差額金、利益剰余金等が増加したことによります。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末に比べて1.6%増加し、30.9%となりました。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

第2四半期連結累計期間の業績予想につきましては、為替が想定よりも円安に推移したこと、原材料価格の低下に伴う影響及びコスト削減効果により、営業利益、経常利益及び当期純利益について、前回(平成25年2月14日)発表時の予想を上方修正いたします。

なお、通期業績予想については、為替、原材料価格の動向等、今後の業績に不確実な要素が多いため、今回見直しを行っておりません。第2四半期連結累計期間の決算発表時に改めて見直しを行う予定です。

詳細につきましては、本日公表しました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
税金費用の計算

一部の連結子会社を除き、当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	19,577	22,971
受取手形及び売掛金	73,461	72,000
商品及び製品	38,413	40,441
仕掛品	2,693	2,886
原材料及び貯蔵品	10,496	11,436
その他	11,774	13,307
貸倒引当金	△93	△99
流動資産合計	156,322	162,943
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	42,583	44,049
機械装置及び運搬具(純額)	65,147	67,408
その他(純額)	38,463	43,192
有形固定資産合計	146,194	154,651
無形固定資産		
のれん	2,664	3,057
その他	5,248	5,459
無形固定資産合計	7,913	8,516
投資その他の資産		
投資有価証券	35,894	43,482
その他	8,232	8,461
貸倒引当金	△273	△301
投資その他の資産合計	43,854	51,642
固定資産合計	197,962	214,809
資産合計	354,285	377,753

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	58,593	62,176
短期借入金	37,960	40,849
未払法人税等	3,017	2,925
未払金	12,023	10,918
役員賞与引当金	26	—
その他	18,042	17,121
流動負債合計	129,663	133,991
固定負債		
社債	28,000	28,000
長期借入金	66,113	69,066
退職給付引当金	13,201	13,216
その他の引当金	151	147
その他	10,522	13,691
固定負債合計	117,988	124,121
負債合計	247,651	258,113
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	30,484	30,484
資本剰余金	28,507	28,507
利益剰余金	38,388	40,845
自己株式	△106	△108
株主資本合計	97,273	99,728
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	11,019	15,883
繰延ヘッジ損益	△240	△17
為替換算調整勘定	△4,207	1,276
その他の包括利益累計額合計	6,571	17,143
少数株主持分	2,788	2,768
純資産合計	106,633	119,639
負債純資産合計	354,285	377,753

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年3月31日)
売上高	120,474	83,535
売上原価	94,062	60,071
売上総利益	26,412	23,464
販売費及び一般管理費	22,882	17,502
営業利益	3,529	5,961
営業外収益		
受取利息	54	53
受取配当金	278	71
為替差益	—	852
持分法による投資利益	90	58
その他	369	321
営業外収益合計	792	1,358
営業外費用		
支払利息	1,023	678
為替差損	549	—
その他	496	604
営業外費用合計	2,069	1,283
経常利益	2,253	6,037
特別利益		
関係会社株式売却益	309	—
特別利益合計	309	—
特別損失		
固定資産除却損	20	86
特別損失合計	20	86
税金等調整前四半期純利益	2,542	5,950
法人税等	1,470	1,696
少数株主損益調整前四半期純利益	1,071	4,253
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△181	18
四半期純利益	1,252	4,234

四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年3月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,071	4,253
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,136	4,863
繰延ヘッジ損益	176	222
為替換算調整勘定	536	5,573
持分法適用会社に対する持分相当額	27	106
その他の包括利益合計	△1,396	10,766
四半期包括利益	△325	15,019
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△163	14,806
少数株主に係る四半期包括利益	△162	213

## (3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (4) セグメント情報

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

前第1四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額
	タイヤ事業	ダイバーテック事業	計				
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	96,443	24,010	120,454	20	120,474	—	120,474
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	5	4	10	52	63	△63	—
計	96,448	24,015	120,464	73	120,537	△63	120,474
セグメント利益 (営業利益)	2,428	1,080	3,509	34	3,544	△14	3,529

当第1四半期連結累計期間(自 平成25年1月1日 至 平成25年3月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額
	タイヤ事業	ダイバーテック事業	計				
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	64,730	18,787	83,517	18	83,535	—	83,535
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	5	1	7	59	66	△66	—
計	64,735	18,788	83,524	78	83,602	△66	83,535
セグメント利益 (営業利益)	5,074	642	5,716	28	5,745	216	5,961

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、国内関係会社に対する融資及び債権の買取、不動産業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額は前第1四半期連結累計期間△14百万円、当第1四半期連結累計期間216百万円であり、セグメント間取引消去等が含まれております。

## (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。